

後利用提案書

大和ハウス工業株式会社

社会課題の解決に向けた、「ダイバーシティ × サステナブル」なまちの形成

アジア競技大会の選手村跡地としてのシンボリックな社会への発信力を活かし、今後の日本が抱える様々な課題に対する解決へ向けたまちづくりを実践します。

年齢・性別・国籍などを問わず、多様な人がコミュニティを構成する「ダイバーシティ」な社会構築に向けた取り組みと、安心・安全で、環境性の向上や防災力も兼ね備えた、「サステイナブル」な取り組みを併せ持つまちづくりを実現し、広く社会に向けて発信することで、普及・波及を図ります。

(提案事項) ■住居整備 ■生活利便施設等整備 ■都市・交流施設整備 □産業・ビジネス施設整備
■学び・スポーツ施設整備 □その他 ※提案する事項すべてにチェックすること

事業概要

＜住環境整備＞

■住居ゾーン(約 7.2ha)

- ・分譲戸建住宅、分譲マンション、高齢者住宅

＜先導施設＞

■生活利便ゾーン(約 3.3ha)

- ・商業施設、飲食店、各種教室、スポーツジム
- ・クリニックモール、薬局など

■スポーツ施設ゾーン(約 2.6ha)

- ・屋外運動場、場外馬券場

■教育・医療ゾーン(約 5.1ha)

・教育施設、病院

＜その他公共施設＞

■緑地・公園等(約 2.5ha)

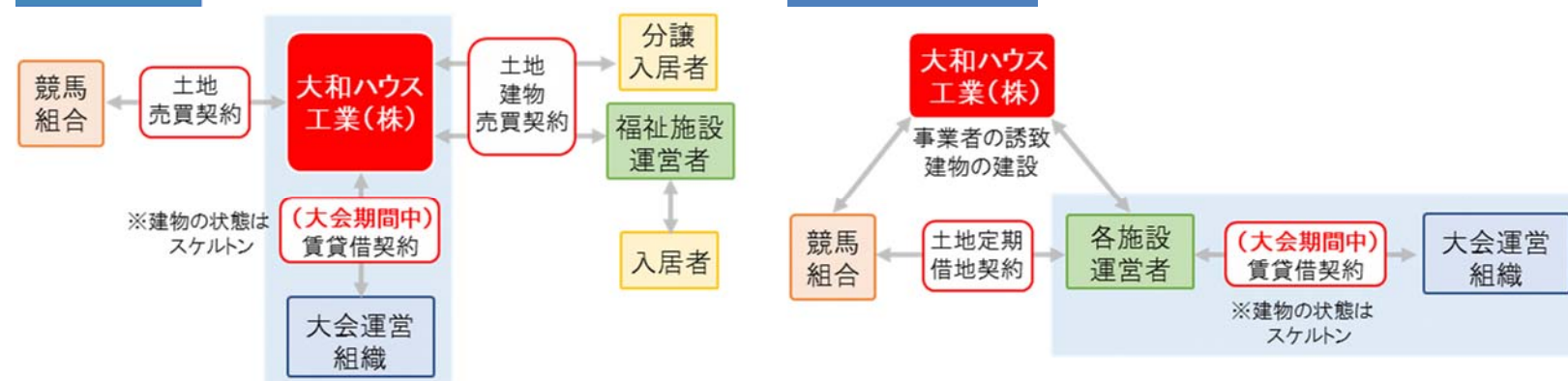
【要望事項】

緑地や公園が、交流の拠点や軸となるように、
各ゾーンへのアクセスを直接できるようにして欲しい。



事業スキーム ※一部の施設は大会終了後の建築となり、その用地は大会期間中の仮設建築物の建設用地として活用できます

住居ゾーン



- 公表を前提とした資料であるため、自社（グループ）に不利になるような情報など、非公表としたい事項については記す必要はない。
- 文字のフォントは自由。文字のサイズは 10.5 ポイント以上とする。提案内容は本様式 1 枚にまとめること